




ゲームでの課金トラブルに注意してください

子どもたちのゲームの利用にまつわるトラブルはさまざまですが、その中の一つに課金トラブルがあります。保護者の許可なく子どもたちが課金をしていたというもので、数万円や数十万円もの高額請求があったというケースも珍しくありません。

課金トラブルの例

 <p>A男は同じゲームと一緒に遊んでいた友だちからアイテムを自慢され、自分もほしくなりました。</p>	 <p>A男は「1回だけだから」と親にお願いして、スマートフォンにクレジットカードの情報を登録してもらい、課金をしてアイテムを手に入れました。</p>	 <p>しかし他にもほしいアイテムが出てきたA男は、スマートフォンに残ったクレジットカードの情報を使って課金を続け、翌月A男の親のもとには高額請求が届きました。</p>
---	--	--

- ・キャリア決済(※)になっていた保護者や自身のスマートフォンを使って課金をしていたというケースもあります。
- ・クレジットカードやキャリア決済を利用した課金は、その場で現金を支払う必要がないので、お金を使っているという実感があまりなく、ついつい課金を重ねてしまいがちです。

※キャリア決済とは……ゲームなどのアプリに課金したお金を一時的に携帯電話会社に負担してもらい、後日、携帯電話の利用料金と合わせて支払う方法。キャリアごとに月々の限度額が設定されている。

課金トラブルを防ぐための対策方法の例

子どもの課金を防ぐために

- ・子どもの利用する端末に、クレジットカードの情報を残さない
- ・子どものスマートフォンにおけるキャリア決済の利用を停止する
- ・子どもの端末での、アプリ内の課金を禁止する

※詳しくは携帯電話事業者のホームページ等でご確認ください

課金を認める場合は、ルールの作成を

<ルールの例>

- ・1ヶ月に〇〇円までと、課金の上限金額を決める
- ・課金する際は、利用残高がわかるプリペイドカードを使う
- ・課金ノートを作って、いつどのくらい課金したのか記録する

もしも子どもが無断で課金をして、高額請求が届いた場合は……

未成年者が保護者の承諾を得ずに課金をしていた場合、返金の交渉ができる可能性があります。まずは消費生活センターに連絡して経緯を説明し、対処方法を相談してください。

課金をしていないことを友だちにバカにされ、保護者に無断で課金をしてしまったという子どもたちもいます。友だち同士で課金をうながすような言動はしないことや、課金トラブルの危険性を学校全体で子どもたちに指導し、保護者の方には課金トラブルを防ぐための対策方法を紹介してください。